

トピックス プラス

9/26

交通安全願い手作りマスコットを配布

迫児童館白鳥クラブ（後藤智恵子代表）会員13人と子どもたちが、交通安全運動期間中の9月26日、ヨークベニマル佐沼店前で手作りマスコットを来店者に手渡ししながら交通安全を呼び掛けました。マスコットは同館幼児クラブ会員とその賛助会員で作成した白鳥をかたどったもの。参加者は「交通安全につながってもらえれば」と話していました。



▲マスコットを手渡し交通安全を呼び掛けました

9/26

うるおいのある住みよいまちを目指し

第1回登米市公衆衛生大会が9月26日、登米祝祭劇場で行われ、市内公衆衛生組員や関係者ら約200人が参加しました。公衆衛生活動などに貢献したとして、32団体と個人15人に登米保健所長と市公衆衛生大会長が感謝状を贈呈。その後、陶芸家・音楽家の吉川団十郎さんを講師に迎え、「みんな生きている」と題した記念講演が行われました。



▲公衆衛生活動に貢献した団体と個人に感謝状を贈呈

10/5

いつまでも友達と仲良く遊んでね

幼児の人権教室が10月5日、南方幼稚園で開催され、園児61人が参加しました。人権擁護委員で県子ども人権専門委員の千葉千代子さん（米山）が、みんなで仲良く遊ぶ大切さなどを園児たちに指導。人権に関するアニメビデオを鑑賞しました。また、マスコットキャラクターも登場し、風船をもらったり、握手をしたりして楽しみました。



▲まもる君、あゆみちゃんと握手をする園児たち

10/5

パソコンが苦手な人も果敢にチャレンジ

市青色申告会連合会の主催による、国税電子申告・納税システム（e-Tax）研修会が10月5日、南方情報センター「るるば」で行われ、約20人が参加しました。佐沼税務署職員が国税庁ホームページや電子申告の利用について説明。参加者はインターネットを利用して、e-Taxの開始届出書の提出や所得税確定申告書の作成などを行いました。



▲インターネットを利用した国税申告を学ぶ参加者

石越でみやぎ国体開催記念ベタンク大会 最後の一球で大逆転劇

第5回みやぎ国体開催記念杯ベタンク大会が10月15日、石越総合運動公園で開催され、県内から愛好者70チーム、210人が参加しました。県ベタンク協会の中嶋富雄会長が「最後の一球で勝負が決まることもあるので、あきらめないで頑張ってください」とあいさつ。その後、予選リーグ戦と決勝トーナメント戦が行われました。各チームの戦略的なプレーや好・珍プレーに、会場内は歓声と笑い声が絶えませんでした。【大会結果】優勝＝第7B（石越）、準優勝＝コスモス（石越）、第3位＝志波姫D（志波姫）



▲各チームの参加者は一球一球考えながらプレーしました



▲水田魚道の説明を熱心に聞く参加者

伊豆沼周辺の環境を考える

伊豆沼周辺の環境を考える（新田地区アグリビジネス検討委員会主催）が10月14日、伊豆沼周辺で開催され、県内外から32人が参加しました。約3キロのコースを歩きながら、稲刈り体験や水田魚道、植生魚巣ブロック、排水機場、伊豆沼内沼サンクチュアリセンターなどの施設を見学。ウォーキング中の風景を、デジタルカメラで撮影した写真コンテストも行なわれ、入賞者には新米とみそが贈られました。参加者は「自然環境を考えて農業が行なわれていることが良く分かりました」と話していました。

豊里で小・中学校合同遠足 みんなで楽しく歩こうね

豊里小・中学校となって初めての合同遠足が10月12日に行われ、小学校児童359人、中学校生徒192人が参加しました。1・4・7年生が植立山（石巻市桃生町）、2・5・8年生が平筒沼（米山・豊里）、3・6・9年生が栗公園・桜公園（豊里）の3つのコースに分かれ、さらに学年を縦割りにグループを編成。午前9時過ぎに出発し、交流活動や奉仕作業などを行いました。中学生が小学校低学年の手を引きながら歩く姿や、楽しく会話する姿が見られるなど、小・中合同の行事で友情が深まりました。



▲小学生と中学生が楽しい会話や奉仕作業などで交流した合同遠足